

平成24年度 施策達成度評価シート (平成23年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	73	快適な居住環境の実現

施策主管部 建設部	評価者(施策統括マネージャー)名	建設部次長 古山裕康
-----------	------------------	------------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市街地, その他の市域, 市民・民間事業者, 区画道路, 利用者	快適な居住環境が確保される

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合	%	↗	46.00	51.80	45.50	49.00	55.00
市道舗装率	%	↗	81.90	83.40	81.90	83.00	85.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合	比較データ無し
市道舗装率	・東北6県中核市の市道舗装率 青森市:66.1% いわき市:70.7% 秋田市:87.6% 郡山市:76.0%

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	<p>■快適な居住空間に対する市民満足度は、前年度とほぼ同数であったが、成果の目標値には達しておらず減少傾向にある。これは、アンケート調査において、道路の整備や維持管理に関する満足度が低い結果となっていることから、特に近年課題となっている道路の適切な維持管理も課題の一因と考えられる。また、震災等により、住宅の耐震化に対する不安も要因の一つとなっているのではないかと考えられる。</p> <p>■舗装率は、舗装整備延長は増加したものの、新に市道認定した路線が増加し、前年度と同数の81.9%で、郡山市等と比較して高いものの、目標値である83.4%には達しなかった。</p>
翌年度以降の課題, その要因	<p>■近年、市民ニーズの多様化が顕著になっており、総合的に対応をしなければニーズに答えられない事態も生じていることから、市民からの要求・要望・提言等を的確に把握しながら、関係する部署との連携を図り、限られた予算の範囲内で、計画的、持続的に事業実施する必要がある。</p> <p>■道路の維持管理については、市道の現場状況を適切に把握し長寿命化に向けた舗装打換え等の効率的な維持管理が重要であることから、計画的に適正な維持管理費の確保を図りながら取り組む必要がある。</p> <p>■木造住宅耐震支援事業は、平成27年までの診断目標1,100戸で、平成18年度から23年度までの実績526戸となっており、近年は申し込みが減少傾向にあり、昨年度の震災後においても、増加が見られなかったことから、より応募しやすい形や、周知方法について検討を行う必要がある。</p> <p>■居住環境の向上の要因となっている宅地開発については、近年、開発可能地が限られ開発許可件数や開発面積が減少している状況にあり、市街化区域における未利用地等について、平成21年度に見直した許可基準を運用しながら、住宅地の供給と良好居住環境の構築を図るとともに、危険宅地対策等に取り組んでいく必要がある。</p>

4 成果達成への基本事業の貢献度

基本事業		比重
コード	名称	
731	生活道路環境の向上	65
732	良好な住宅地の誘導	35

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	73	快適な居住環境の実現
基本事業			
コード	名称		
731	生活道路環境の向上		

施策主管部 建設部	評価者(施策統括マネージャー)名	建設部次長 古山裕康
-----------	------------------	------------

市街地, その他の市域, 市民・民間事業者, 区画道|快適な居住環境が確保される

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
区画道路, 利用者	道路環境の向上が図られる

市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市道改良率	%	↗	73.30	73.60	73.40	73.70	74.30
市道除雪率	%	↗	69.10	70.00	70.39	70.59	72.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	生活道路環境の向上のため各種事業の適正な実施	70
	国・県・ 他自治体	市が実施する各種事業への技術的支援や補助金等の交付	10
	市民・NPO	市が実施する各種事業への理解と協力及び市民協働意識の向上	10
	企業・その他	市が実施する各種事業への協力と支援	10

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	73	快適な居住環境の実現
基本事業			
コード	名称		
732	良好な住宅地の誘導		

施策主管部 建設部	評価者(施策統括マネージャー)名	建設部次長 古山裕康
-----------	------------------	------------

市街地, その他の市域, 市民・民間事業者, 区画道|快適な居住環境が確保される

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市街地, その他の市域, 市民・民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な住宅地が形成されている ・建築物が適正化されている

市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市街化区域内における未利用地面積	ha	↓	197.60	187.60	190.90	182.90	141.10

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	本市における良好な住宅地の誘導については, 市民の理解と協力を得ながら, 市が主体的に行うものである。	70
	国・県・ 他自治体	市の要請に応じ, 関係機関として必要な意見等を示してもらう。	5
	市民・NPO	市とともに, 良好な住宅地の誘導に取り組む。	20
	企業・その他	必要に応じ, 市や市民とともに良好な住宅地の誘導に取り組む。	5